地域の役に立ちたい
社会貢献いろいろ

㈱協和建設（延藤政則代表取締役）の皆さんが４月23日、みはらし台団地町営住宅付近のフェンスの取り付け作業を行いました。このフェンスは除雪作業の障害となることから、冬期間は取り外されています。参加された４人によって手際よく取り付けされました。

辻谷建設㈱（辻谷智之代表取締役）と同社の協力会社１社の皆さんが６月６日、川湯温泉街を流れる湯川排水路周辺で、管理道路の立ち木の伐採や草刈りなどを行いました。川湯温泉を訪れる観光客を気持ちよく迎えたいと毎年行っているもので、今年で９回目。40人が参加。湯川上流の敷島つつじ橋を起点とし、上流約530メートルの間を丁寧に作業しました。

クニオカ工業㈱（今誠代表取締役）の皆さんが５月30日、川湯温泉街を流れる湯川排水路の清掃を行いました。観光客を気持ちよく迎えたいと毎年行っているもので、19人が参加。約500メートルにわたって丁寧に作業を行いました

クニオカ工業㈱（今誠代表取締役）と㈱今道東建設工業（同）の皆さんが５月30日、町道町営牧場１号線と町道釧路川右岸沿線のごみ拾いを行いました。毎年行っているもので、今年で11年目。35人が参加しました。今代表取締役は「観光地である弟子屈町に、地元業者として少しでも貢献できれば」と話していました。

辻谷建設（株）（辻谷智之代表取締役）の皆さんが６月１日、おひさま公園のグランド整備を行いました。子どもたちに安全に使ってもらいたいとの思いから、10人が参加。きれいに整備されました。

よろしくお願いします

観光商工課
錦野（にしき の） 昌浩（まさひろ） 課長補佐

６月１日付で、北海道から派遣された、錦野 昌浩さんを紹介します。

同じく北海道から派遣されていた観光商工課誘客対策係長 宮内 理等（よしひと）さんは、５月31日に当町を離任し、北海道経済部経済企画局国際経済室に配属されました。

CloseUp Topics

緑あふれるまちづくり

令和元年度弟子屈町民植樹祭 苗木無料配布会

苗木の前には長い列も

大きく育てと願いを込めて

令和元年度弟子屈町民植樹祭～森林（り）は自然の貯金箱（も）～（主催／町、弟子屈町緑化推進委員会（会長・徳永町長））が5月31日、旧泉パークゴルフ場で行われました。植樹祭は緑のふるさとづくりを目的に、毎年開催されています。

当日は自治会関係者のほか、弟子屈小学校の6年生38人を合わせたおよそ100人が参加。スコップとバケツを手に、エゾヤマザクラとニトリザクラ合わせて92本を一生懸命植樹していました。

5月27日には、町緑化推進委員会主催による「苗木無料配布会」が、役場前と川湯支所前で行われ、多くの人でにぎわいました。

町内の緑化推進のために毎年行われているもので、今回配布されたのはプラム、クラブアップル、ハスカップ3種で、計100本が用意されました。

当日は天気もよく、訪れた皆さんはじっくりと選定し、お気に入りの苗木を見つけて持ち帰りました。

苗木を受け取った女性は、「配布には毎年参加している。数年後には実が付くのを楽しみにしています」と笑顔で話していました。

会場では緑の募金も行われ、集まった方々が募金に協力していました。

自転車で弟子屈を満喫

第７回グランフォンド摩周

摩周観光文化センター前からスタート

雄大な自然を満喫

６月１・２の両日、第７回グランフォンド摩周（同実行委員会主催）が開催されました。

グランフォンドは風景や食などを楽しみながら走る自転車の長距離イベント。今回は、昨年11月に中華民国自行車騎士協会と（一社）摩周湖観光協会などで締結した友好交流協定に基づき台湾から参加した14人を含め、全国各地から集まった227人の皆さんが摩周の大地を疾走しました。

１日は津別峠をめぐる80㎞の津別峠パノラマコースと、屈斜路周辺をめぐる60㎞の屈斜路カルデラコースを開催。終了後には、参加者交流会も行われました。

２日は、130㎞のロングコース、100㎞のミドルコース、60㎞のショートコースの3コースに分かれ、サイクリングを楽しみました。中には前日のコースと合わせて参加する方も。

今回も各コースの途中にエイドステーション（水分や食べ物を補給する施設）が設けられ、弟子屈町ならではのおいしいエイド食が提供され、参加者からは大好評でした。

地元の方と触れ合えるのも大会の魅力